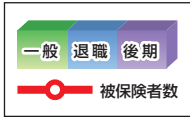
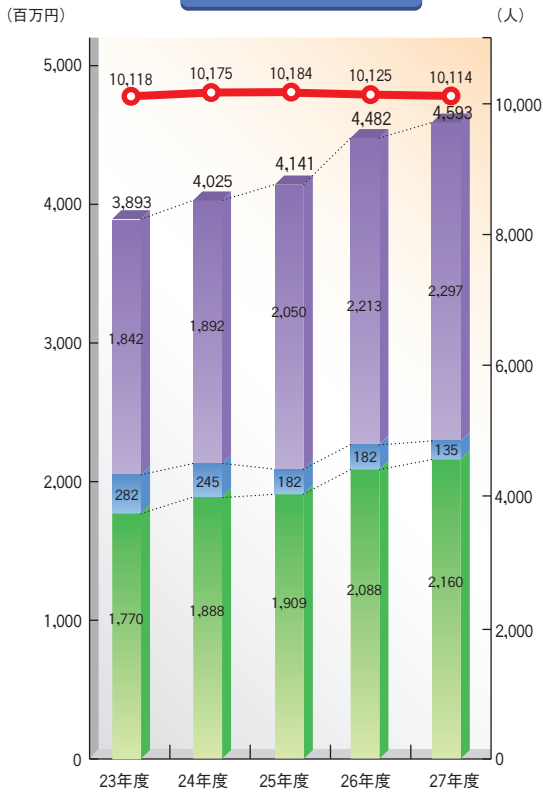


野 木 町

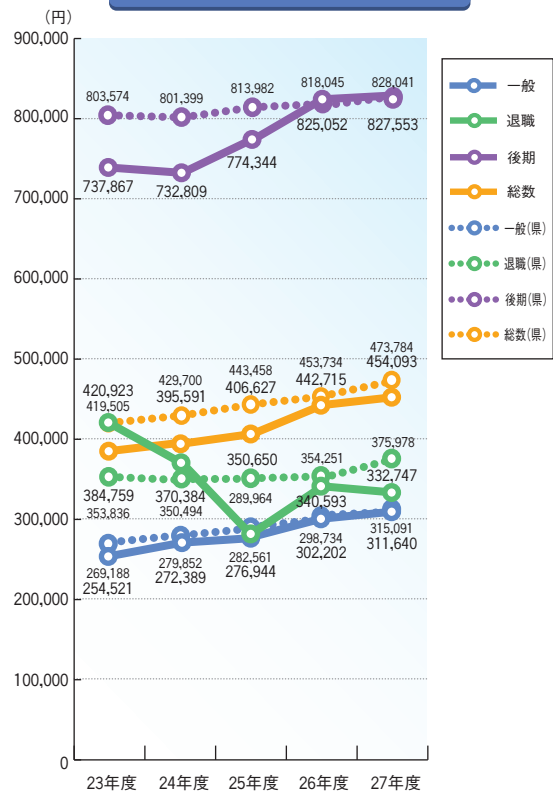
# 野木町



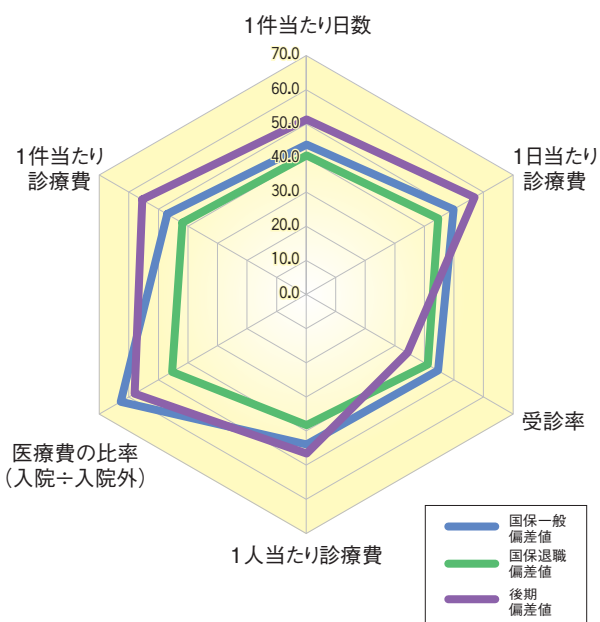
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

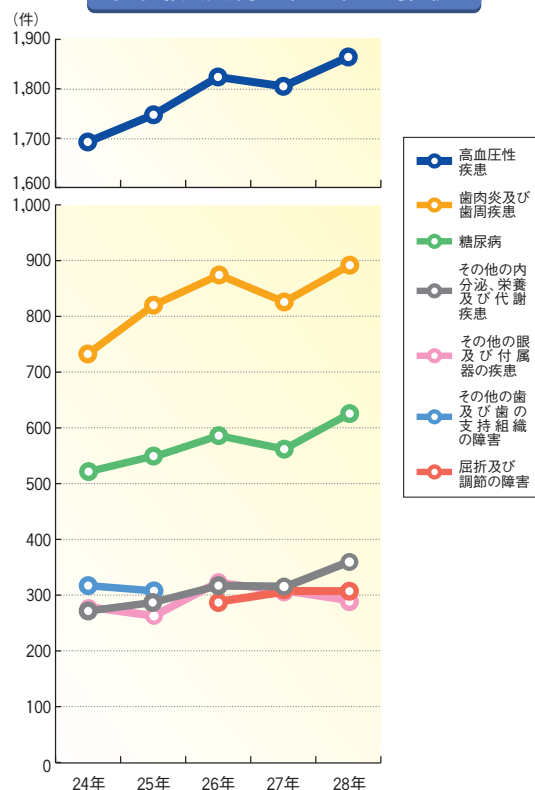


## 平成27年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

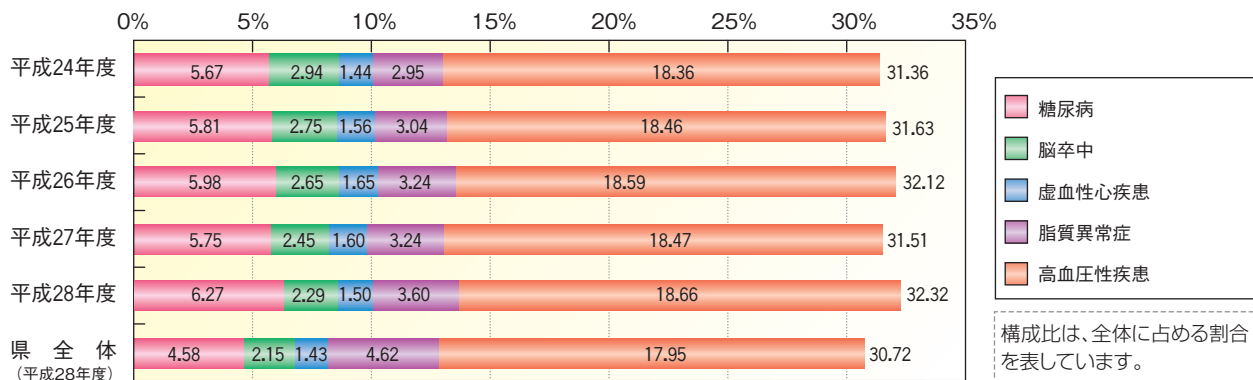


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

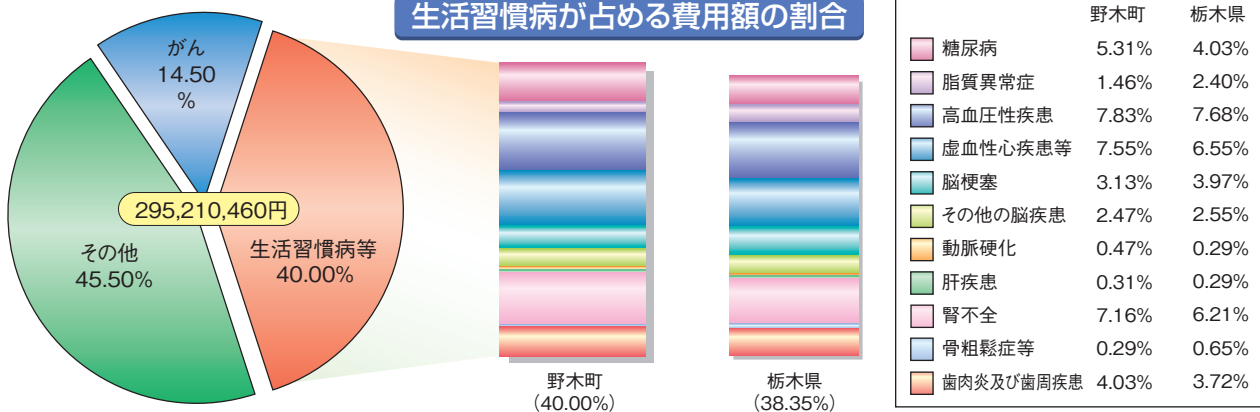
## 多受診疾病上位6位の推移



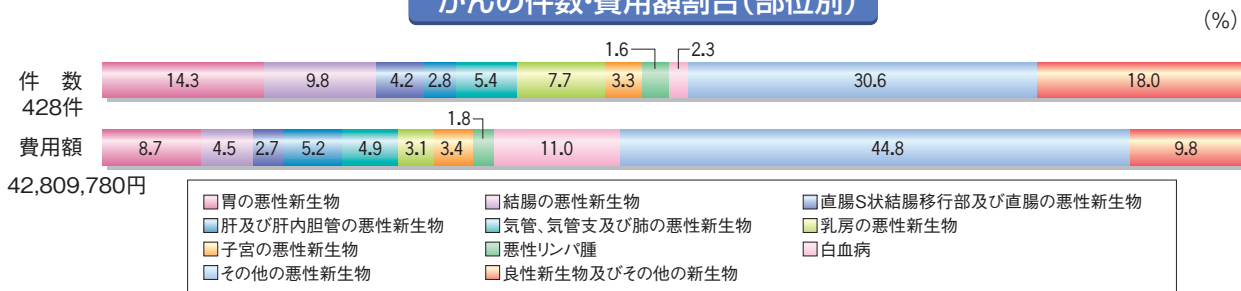
### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 野木町の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,159,978千円(103.5%)、退職135,428千円(74.3%)、後期2,297,286千円(103.8%)で、全体では4,592,692千円(102.5%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は10,114人で、内訳は一般6,931人、退職407人、後期2,776人である。前年度比較すると全体で99.9%と減少している。

また、平成27年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は454,093円(11,378円増)、一般は311,640円(9,438円増)、退職は332,747円(7,845円減)、後期は827,553円(2,501円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は医療費比率において県平均を上回る偏差値となっており、退職は全ての項目が県平均を下回り、後期は受診率及び1人当たり診療費以外が県平均を上回る偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成28年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位その他の眼及び付属器の疾患で、中でも、1位の高血圧性疾患は件数は増加しているが、費用額は前年比0.75倍と減少している。また、4位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患の費用額は前年比1.47倍と増加している。

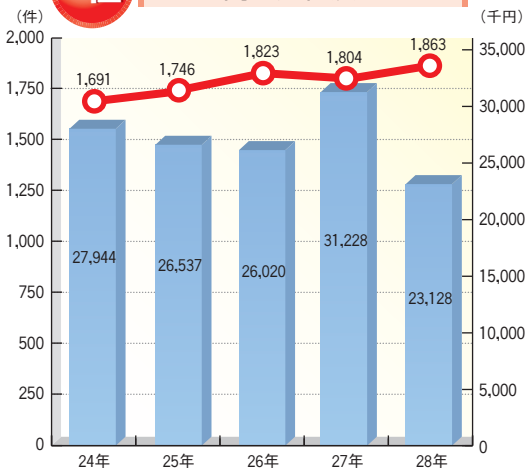
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成値は高く、中でも糖尿病は県全体に比べ特に高い構成値になっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が295,210,460円で、がんが14.50%、生活習慣病関連が40.00%を占めている(県全体 がん12.31%、生活習慣病関連38.35%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患7.83%、虚血性心疾患等7.55%、腎不全7.16%、となっている。

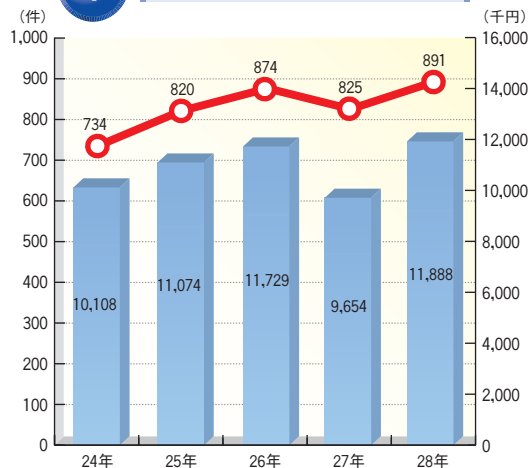
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数は胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では白血病、胃の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

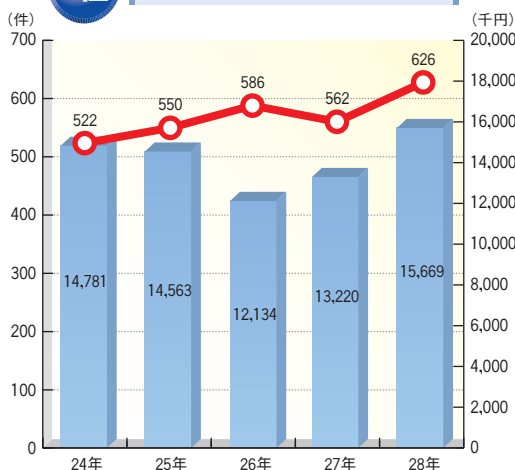
## 1位 高血圧性疾患



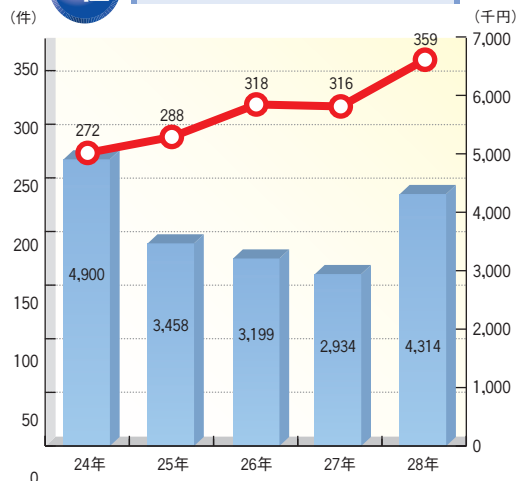
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



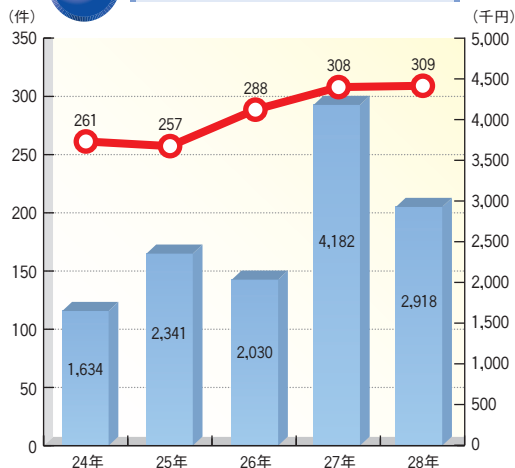
## 3位 糖尿病



## 4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 5位 屈折及び調節の障害



## 6位 その他の眼及び付属器の疾患

